



NEWS LETTER

男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室

Vol.8

ニュースレター

発行 名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL:052-853-8577/FAX:052-853-8588/E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/

2013年8月

REPORT

イベント報告

SUMMER SCHOOL

小学生サマースクールを開催しました！

女性研究者支援室では、8月5日(月)から7日(水)まで、教職員および学生の小学生のお子さんを対象とした「小学生サマースクール」を、山の畑キャンパス1号館で開催しました。小学1年生から5年生までの16名のお子さんの申し込みがあり、1日目は8名、2日目と3日目は各日13名が参加しました。

朝の会の後は、ヨガや身体を動かす遊び、そして学習・読書タイム。英語のゲームや歌、中国語のあいさつも楽しんで学びました。昼食は、生協の学生食堂でとりました。圧倒的な人気メニューはからあげカレーとかけうどん。大学生と並んで料理を注文する姿は、どの子も頼もしく見えました。午後は、初日はキャンパスの見学、翌日からはさまざまな製作活動をおこないました。

もっとも印象的だった製作活動のひとつは、2日目の午後、8千個の紙コップを使っておこなった城やタワーづくり。最後は紙コップが足りなくなってしまうほど、子どもたちは作りたい建物のアイデアとやる気いっぱい3時間でした。建物を壊してからの片づけさえも、15分で済ませてしまった子どもたち。「今度は2万個でつくりたい」という感想も聞かれました。

大学生のお兄さん、お姉さんとの交流も、子どもたちにとっては新鮮な経験でした。宿題をみてもらったり、工作を手伝ってもらったり、鬼ごっこで追いかけあったり、夏休みの思い出づくりを手伝ってくれました。

夕方5時のお迎えの時間。初日の朝感じられた緊張した雰囲気はどの子の顔からも消え、「またね!」と元気な笑顔でお父さん、お母さんと帰っていきました。



経済学研究科の小川淳平先生の
研究室を訪問



毎日食べても
飽きないおいしさ!



紙コップの城完成!

サマースクールの 一日の流れ

8:30



到着

8:45



朝の会

9:00



朝ヨガ

9:30



学習&読書

10:00



身体を
動かす遊び

11:30



昼食

13:00



製作活動

15:00



おやつ

16:00



自由時間

17:00



お迎え

ランチミーティング (田辺通キャンパス) 5月27日(月)



5月27日、田辺通キャンパスで初めてランチミーティングを行いました。学生と教員13名が参加し、昨年度の薬学部男女共同参画セミナーの感想を語り合ったり、今年度のセミナー講師の人選について意見を出し合っていました。市販薬や消毒の話、大学祭で行う製薬体験の話など、ふとした会話にも薬学部らしい話題が上っていました。

ランチミーティング (特別編) 8月6日(火)



8月は「研究支援員制度」をテーマにランチミーティングを開催し、制度を利用中の研究者や支援員の方を中心に8名が参加しました。「支援員が来たときは普段より仕事が進む」とこの制度が非常に役立つという声がある一方で、より専門性の高い支援員を探すための体制づくりや、大学院生への利用拡大を望む声も上がりました。

INTERVIEW

男女共同参画室の新室員、芝本雄太先生と上田敏丈先生にお話を伺いました。

芝本雄太先生(医学研究科 放射線医学分野 教授)



今、放射線科では全体で2割、若手では3分の1が女性医師です。放射線科医は不足しているので、女性にもぜひ働いてもらいたいです。当科では、家庭のある女性でも18時頃には帰れる体制をつくっています。今年は副病院長、総合研修センター長も兼務しており、愛知県医師会の男女共同参画部会にも関わっています。病院は他の部署とは違い、患者さんを相手にすることが特徴です。これまでは担当の患者が急変した場合、夜間や休日でも医師がすぐに駆けつけていました。患者さんに向き合いながら、どうやって男女共同参画を進め、働きやすい職場をつくるか。病院、医師の立場として、男女共同参画室の仕事に取り組んでいきたいと考えています。

上田敏丈先生(人間文化研究科 准教授)



保育・幼児教育学、特に保育者論を専門としています。保育を考える上で、男女共同参画は重要なポイントとなる政策です。前任校では、大学と地域のお母さんたちとで子育て支援サークルをつくっていました。2週間に1回、大学の子育て支援室を利用して子育てサロンや父親サロン、地域子育て交流会、サポーター育成講座などを行ったのです。男女共同参画室の室員になってからは、3月の子育てサロンや前期の教養教育の担当、8月のサマースクールに関わってきました。僕自身、小学生の子どもがおり、土日には子どもを研究室に連れて行くこともあります。今後も子育て支援という側面から、男女共同参画室の活動に関わりたいと思っています。

INFORMATION

お知らせ

男女共同参画セミナー

男女共同参画セミナー1(医学部)

パパとママ、子どもたちの笑顔が輝くために 共働き家庭の車座ミーティング

昨年度に引き続き、男女共同参画・女性研究者支援に関する意識改革の一環として、各学部で男女共同参画セミナーを開催します。今後のセミナー日時はHP等でお知らせしますのでチェックしてください。

日時：9月4日(水)12時00分～14時00分

場所：医学部研究棟2階 臨床セミナー室

対象：教職員、学生(他学部の教職員、学生も歓迎)

話題提供者 浅井清文先生(医学研究科長)

※昼食は各自持ち寄りをお願いします。



次回開催のセミナー

男女共同参画セミナー2(薬学部)

日時：9月10日(火)13時00分～ 場所：薬学部講義・図書館棟1階 大講義室

講師：金城学院大学 林弥生先生、アスピオファーマ株式会社 左手寛子先生ほか

ハーモニーバッジ・シール配付中!

子育てや介護に関わる方を応援するため、ハーモニーバッジ・シール(子育て・介護応援バッジ・シール)を作成しました。ご希望の方は、女性研究者支援室までご連絡ください。



ロールモデル集を発行しました

名市大の魅力的な女性研究者を紹介するロールモデル集「COURAGE TO CHALLENGE 2 挑戦する女性研究者たち」を発行しました。関心のある方は女性研究者支援室までご連絡ください。



さくらんぼ保育所だより

願いごとが叶いますように

七夕前日の7月6日、さくらんぼ保育所の七夕会が行なわれ、風船すくい・リサイクルバザー・音頭といった企画を皆で楽しみました。現役の利用者ファミリーと職員だけでなく、OBファミリーの参加もあり、さくらんぼ保育所を卒園してからの様子をお喋りしたりと旧交を温め合えるひと時ともなっていました。

ハイライト(?)は、スイカ割り♪子どもたちが時には意味もよくわからないままに、時には張り切ってスイカに向かっていく様子に、それを見守るおとなたちも笑みをこぼしていたのでした♪

